



No.247・2024 10.15

おもな記事

「2025年度東京都予算要望」(回答)…………… 2
活動のまで…………… 8

2025年度東京都

透析患者医療費の予算要望(回答)

2024年10月1日(火)

東腎協が要望した結果、
来年度も継続となった主な医療制度

- 心身障害者(児)医療費助成制度
(マル障65歳年齢制限)は
2025年度も継続します。
- 難病医療費助成制度(マル都)は
2025年度も継続します。
- 心身障害者福祉手当
(月額15500円65歳年齢制限)は
2025年度も継続します。



特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会
(NPO 東腎協)



第42回 臓器移植 普及推進 キャンペーン

10月6日(日)
井の頭公園にて



(表2スナップ写真つづき)



本部テント前で集合写真



風せんやティッシュを配布



風せんやティッシュを配布

目次
247号

第42回臓器移植普及推進キャンペーン
スナップ写真……………表2
2025年度東京都
予算要望の回答……………2
2025年度予算要請東京都議団ヒアリング
……………6
活動のまど……………8

ご寄付の報告……………11
署名……………12
2025年度厚労省「腎疾患総合対策」予算要
望と回答……………13
「青い鳥郵便はがき」の無償配布知ってい
ますか?……………15
事務局から……………16

2025年度

東京都予算要望の回答

1. 各種医療費助成制度の維持継続について

要請項目① 東京都難病医療費助成制度(マル都)を堅持継続して下さい。

回答 自己負担分の内、入院、令和7年度も月額一万円を限度に助成を行う。

要請項目② 心身障害者(児)(医療費助成制度(マル障))を堅持継続し、新規65歳以上の住民税非課税の方も対象として下さい。

回答 65歳以上の障害者の方は、高齢者施策で対応することを原則としたので対象外となる。

要請項目③ 心身障害者福祉手当を堅持継続し、新規65歳以上も対象として下さい。また諸物価高騰を鑑み手当(現行15,500円/月)を増額して下さい。

回答 65歳以上の障害者の方は老人保険施策で対応することを模索。心身障害者福祉手当は65歳以上で障害者となった方は制度の対象外。

2. 要介護透析者への支援強化について

要請項目④ 移動困難な要介護透析患者の週3回の透析医療機関への通院費に対して公費助成をして下さい。

回答 医療費助成制度として実施する予定はない。介助が認められる場合は、区市町村

が判断する事。

要請項目⑤ 透析患者が入居可能な公的介護施設を増やす施策をさらに推進して下さい。

公的介護施設の透析患者受け入れは、全国調査では10%程度にとどまっております。東京都においては全く受け入れていない地域があります。2024年度介護報酬改定において「特別養護老人ホーム」への入所が可能となるよう、「特別通院送迎加算」が新たに評価されました。透析患者であっても住み慣れた地域で、その人らしく生きることを実現できるように、透析施設と介護施設の連携体制を整備し、透析患者が入居可能な公的介護施設を増やす施策を推進して下さい。

回答 令和6年度から特別介護老人ホーム経営支援事業に補助額を。特別養護老人ホームの施設整備費や土地賃貸料の補助。

要請項目⑥ 透析患者が長期入院できる医療療養型病床を増やして下さい。現状では、公的介護施設に入居しにくい状況を鑑み、透析が可能な医療療養病床が増えるような施策を推進して下さい。

回答 回復期リハビリテーション及び地域包括ケア病棟等の整備を行う医療機関の支援。

要請項目⑦ 腎臓病患者介護に関する研修の強化をして下さい。

要介護透析者にとって、ケアマネジャー及びヘルパーの方々が、腎臓病患者の飲食等生活に関する注意事項を理解している

ことが強く求められます。東京都は腎臓病関連医師団体等と連携して、ケアマネジャーに対する腎臓病患者介護に関する研修を強化し透析者が安心して介護を受けられる様にして下さい。

回答 養成研修事業実施要綱を設置。訪問介護事業者に研修を。又、研修カリキュラムも厚生労働大臣が定める基準に沿って設定。

要請項目⑧ 精神障害者の維持透析受け入れ態勢を強化して下さい。
入院して維持透析が可能な精神科病院や精神科病院に入院をしながら通院して透析が受けられる体制・支援の整備を進めて下さい。

回答 令和6年度、患者に各医療機関を受診している透析

を実施する精神病床を有する医療機関に対して他の医療機関への送迎及び看護師等の付き添いにかかる経費を助成。

3. CKD（慢性腎臓病）への取組について

要請項目⑨ CKDの予防推進をして下さい。

全国の透析患者数は全体としては増加傾向にありましたが、2022年度末に初めて減少に転じましたが、高齢の透析導入患者は増え続けています。糖尿病腎症に関しては、東京都保健医療計画（令和6年3月改定）において「糖尿病による新規人工透析導入患者率を減らす」等の評価指標を設定し対策を推進していただいています。この対策および糖尿以外の高齢に伴う腎硬化症などによるCKDについて、重

症化の予防、人工透析導入患者を減らす施策を更に推進して下さい。

また、長期的な意味での予防のために、都内の小中高校の時期から、慢性腎臓病について健康診断、食事指導等を盛り込んだ教育を更に推進して下さい。

回答 慢性腎臓病CKD対策としてWEBサイト「ほっとけないぞCKD（慢性腎臓病）」を運営。早期発見、早期治療の推進に。

学校保健安全法施行規則により慢性腎炎や糖尿病の早期発見・適切な治療と管理を受けさせ、重症化を予防。

要請項目⑩ 「腎臓病を考える都民の集い」の支援強化をして下さい。

「第35回腎臓病を考える都民の集い」は2025年3月に東京都と共催

で開催を予定しています。東京都民、患者およびその関係の方々が一層のアピールができますように、一層の広報活動強化をお願いします。また引き続き東京都の施設を会場として使用させて頂きるとともに、経済的支援も考えた費用の予算化をして下さい。

回答 都の「ホームページ」や広報媒体に案内を掲載、またラジオ番組や各区市町村へのポスター・チラシの配布し、周知を図っている。令和5年度より東京都ライン公式アカウントやX（旧ツイッター）などのSNSを活用。幅広い世代へ周知に努めている。令和6年度も都庁内の会議室を使用。

4. 腎臓病患者の救急医療および回復期リハビリテーション医療について

要請項目⑪ 人工透析可

能な救急医療体制をさらに強化して下さい。

慢性腎臓病（CKD）に起因する、心血管系疾患や人工透析患者の心筋梗塞や脳血管系疾患等の病状急変に備えて、人工透析可能な救急医療体制をさらに強化して下さい。また、透析患者が急性期の治療後に社会復帰するため、透析および入院が可能な回復期リハビリテーション病院が増えるような施策を推進して下さい。

回答 循環器病対策推進計画（令和6年3月の作成）に基づき脳卒中急性期医療機関の認定やCCUネットワークの構築により循環器病の医療体制強化を。また、経費の一部補助をしている。

5. 透析医療の安全について

要請項目⑫ 透析医療の

安全について行政指導を強化して下さい。

透析医療においては、抜刺事故、転倒・転落事故が少なくありません。透析施設の医療法の遵守及び安全管理体制の整備状況を定期的に調査し患者本位の医療を目指し、透析医療ミスや医療事故防止と感染症対策の行政指導を確実に実行して下さい。

回答 医療安全確保の取り組みの更なる強化について助言・指導を行う。安全確保及び感染予防対策に、医療法に基づく適切な指導をしている。

要請項目⑬ 新型コロナウイルス等の感染症対策を推進して下さい。

感染症は透析患者の死亡原因の第1位となっています。透析患者が新型コロナウイルス等の感染

により重症化した場合に入院治療ができるように地域の医療連携をさらに推進して下さい。

回答 新たな健康感染症等の発生に備え、予め医療機関と病床確保する協定を締結。災害時透析医療ネットワークを活用した地域における医療化連携を推進。

6. 患者中心の透析医療について

要請項目⑭ 患者中心の医療を推進して下さい。

透析患者を含む慢性腎臓病患者の人生の最終段階においても、医師と患者・家族と話し合いを繰り返すSDM（共同意思決定）やACP（アドバンス・ケア・プランニング）を行い、十分な体制で慎重な検討を行うなど、患者の立場に立った、患

者中心の医療を推進して下さい。

回答 副ケア啓発媒体「私の思い手帳」を作成配布。今後、普及啓発と医療介護関係者に対する実践力向上のための研修を実践。

7. 透析患者への大災害対策について

要請項目⑮ 大災害時に透析医療を確保するため、区市町村、医療機関との連携を強化して下さい。

区市町村の災害時に透析医療を確保するための対策の底上げのため、透析医療機関や区市町村、関係機関との連携強化を推進し、先進的な取り組みを区市町村へ横展開をさらに強化して下さい。また、都外で透析をしなければならぬ場合や、都外から透析患者を受け

入れるための広域連携をさらに推進して下さい。

東京都の災害備蓄食料で、腎臓病患者などを対象とした災害救助用アルファ化米が、災害時に避難所で必要な都民に確実に提供されるよう区市町村へ周知徹底して下さい。

回答 災害時における「透析医療活動マニュアル」の作成。

令和4年度においては各地域における先進的な取組みについての事例集を作成し、透析医療機関及び区市町村に共有いたしました。都外医療機関近県との会議。腎臓病患者用白米アルファ化米を備蓄。避難所を運営する区市町村に対して、本備蓄食料の趣旨を周知徹底。

8. 再生医療と臓器移植について

要請項目⑯ 腎再生医療

の早期実現を推進して下さい。

そのため大きなハンデキャップを背負い続けながら生活をしています。最近研究の進んでいる再生医療は、私達透析患者にとって希望の星であり、特に若い世代の患者のためにも1日も早く腎再生が実現するように国へ働きかけて下さい。また、東京都もさらに再生医療の研究を推進して下さい。

回答 献腎移植を希望、先行的献腎移植を希望し、日本臓器移植ネットワークに移植希望の登録をする方に、腎臓移植組織適合検査費のうち、一部を助成。東京都医学総合研究所において、細胞移植治療法の開発を目指している。

要請項目⑰ 東京都特殊疾病協議会の移植医療推進部会を開催し臓器移植

件数が増えるような対策を検討し、臓器提供施設連携体制の強化、臓器移植の啓発等を推進して下さい。

回答 臓器移植コーディネーターを配置し支援を行っている。臓器移植の推進に努める。

要請項目⑱ 「臓器移植キャンペーン」へのご協力をお願いいたします。

第42回臓器移植推進キャンペーン」を本年10月6日(日)に井の頭恩賜公園にて東京都と共催で行います。また、「臓器移植推進グリーンリボンパレード」に後援、ご協力をお願いいたします。

回答 区市町村や保健所、東京都臓器移植コーディネーターを通じた啓発等、意思表示の定着に向けた普及啓発に努める。

9. 就労支援について

要請項目⑲ 透析患者の雇用環境の整備を推進して下さい。

透析患者の治療と仕事の両立を推進するため、企業向け普及啓発セミナー、各種助成制度の実施等雇用環境整備の確保を継続・推進して下さい。また、「東京都難病・がん患者就労支援奨励金」事業に透析患者も対象として下さい。

回答 「障害者雇用促進ハンドブック」を作成。各種助成制度を実施し、雇用環境整備の重要性を伝える。

2025年度予算要請東京都議団ヒアリング

8月27日(火)、29日(木)

の2日間、台風情報を気にしながらも無事に東京都議会議員団との2025年度予算要請ヒアリングに、都庁に行つてきました。東腎協からは戸倉会長・横溝副会長・板橋事務局長・三好事務局次長、須藤理事の5人が出席しました。

○8月27日(火)

13:00～13:25 都民ファーストの会 東京都議団

14:00～14:45 日本共産党 東京都議会議員団

○8月29日(木)

13:30～13:55 都議会公明党

15:40～16:00 東京都議会自由民主党

16:05～16:25 東京都議会立憲民主党

要請書は8月初旬、各党議員団事務局にデータと文書を併せて送付しています。

要請書は8月初旬、各党議員団事務局にデータと文書を併せて送付しています。

要望が昨年の18項目から19項目に増えています。

① マル都の堅持継続

② マル都の堅持継続、新規65歳以上の住民税非課税の方も対象に

③ 心身障害者福祉手当の堅持継続及び新規65歳以上も対象・手当の増額を

④ 要介護透析者の通院費の公費助成を

特にこの4つを中心に戸倉会長が説明して各党に協力を要請しました。時間に余裕のある党には19項目を丁寧に説明して、時間に余裕のない党には重要項目を説明してきました。

各党議員ともご家族や知り合いに透析患者がいる方もいて、強く関心を持っていただきました。

都民ファーストの会

東京都議団

出席議員は8名で進行役の白戸議員から出席議員の紹介があり、その後、板橋事務局長より東腎協参加理事の紹介後、戸倉会長より、要望19項目の説明を行いました。

議員より「項目⑭の透析患者の雇用環境の整備について」難病の定義を質問され説明をしました。また特養に関しては、「他の患者団体からも要望を聞いているのでしっかり取り組んでいきたい」と回答を得ました。他に項目⑯⑰の移植についての質問が出ました。

日本共産党

東京都議会議員団

参加議員は2名で事務局の方1名が出席。戸倉会長より参加理事の紹介があり、時間に余裕があった為一つ一つ丁寧に説明をすることが出来ました。

項目②では10都道府県以外は年齢で区切っていないことや、項目⑤⑥の特養ホームは透析患者だけでなく、他の病気でも入居出来ないと説明しました。項目⑦⑧については、災害対策で区市町村担当者が変わるたびに一からの説明となるので対策して欲しいと要請しました。



要請する都民ファーストの会



要請する日本共産党

都議会公明党

参加議員4名の紹介があった。幹事長代理議員の挨拶後、板橋事務局長より東腎協参加者の紹介をし、戸倉会長より19の要請項目の説明をした。

議員より「特養老人ホームが不足しているのか？自身の父親も透析をしていたので、通院・特養の問題はよくわかる」「透析患者を受け入れるところが少ない」と訴えました。災害時の対策が杉並区は進んでいて、河北葦クリニクが中心となって取り組んでいると報告しました。また腎臓バンクのある県は？との質問が出た。



要請する公明党

東京都議会自由民主党

定刻より遅れたため15分の時間しかなくなつた。参加議員は22名で、始めに三役である幹事長、政調会長、総務会長の紹介があった。幹事長挨拶の後、時間が10分程度の説明でお願いされた為、戸倉会長が重点項目に絞つての説明を行った。

議員より、災害対策は区市町村でどの様な差があるのかとの質問がでた。「担当が変わると今までの話が1からの説明になり、行政レベルで最低限のマニュアルを作成し担当者が変わっても継続してほしいと要望した」。



要請する自由民主党

東京都議会立憲民主党

移動時間が短く開始時間より5分遅れてしまい、時間も短くなつてしまいました。

幹事長を始め参加議員は10名。板橋事務局長より東腎協参加理事の紹介後、戸倉会長より重点要請項目を説明した。議員より「災害対策の進んでいる所は？」「感染症対策の所で入院先が無いのか？」「通院で交通費に関してどういう助成をしたらいのか？」などの質問が出ました。少ない時間の中で戸倉会長からそれぞれの質問に回答しました。

各党都議会議員の皆様へ、



要請する立憲民主党

来年度の予算要請の後押しをお願いをしてきました。

また、当日東難連の代表も2025年度予算要請ヒアリングにいられていました。

東京都保健医療局保健政策部疾病対策課を訪問しました。

29日、公明党と自民党のヒアリングの間に1時間45分の時間が空いていたので、事前に連絡をして、10月6日(日)「第42回臓器移植普及推進キャンペーン(井の頭公園)」について、共催者の東京都保健医療政策部疾病対策課 深井課長、神戸課長代理ほかを訪問し、当日の打合せ、東京の出席者等の打ち合わせをしてきました。

今年は、献血移植コーディネーターの方も3名出席されると紹介がありました。

とうじんきょう 活動の まど

第42回臓器移植普及

推進キャンペーン

10月6日(日)

井の頭公園

10月は臓器移植普及推進月間です。10月6日(日)東腎協も臓器移植普及キャンペーン推進として井の頭公園にて行いました。集合時間時には小雨・霧雨が降っていました。開催時間には止み無事開催する事が出来ました。

共催の東京都の保健医療局保健政策部疾病対策課と献血移植対策担当の方合わせて3名の参加、協力の東京都の臓器移植コーディネーターの方

が3名、協力の東京医科大学八王子医療センターから医師の先生が3名、RTC(レシピエント移植コーディネーター)1名、全腎協から1名、東腎協からは、理事・患者会会員・個人会員・事務局員を合わせて21名、総出32名の参加でした。

理事の数名は、朝9時に集合して前準備をしました。その他の理事及びほかの方は、9時半に集合し、フーセン作りを。お天気も悪く、人が少ないのでノベルティ3000個のうち約2000個を持ちやすいように手提げ袋へ袋詰めをしました。



交替で食事

午前10時に午前の部スタートとして簡単に挨拶・紹介をしてノベルティの配布、風船も一緒にとそれぞれが散らばり行いました。午前中だけで1800個を配布出来ました。昼食は東腎協でお弁当を頼み、テントに全員が入ることが出来ない為、2班に分けて取りました。天気も持ちそうでしたし、人も多くなってきましたこともあり、残りのノベルティ1000個を昼休み中、手提げ袋詰めを午後に間に合うように急いで作業をしました。フーセン作りも隣で頑張っていました。



14時に無事閉会

戸倉振一会長挨拶、東京都深井園子課長挨拶、協力の東京医科大学八王子医療センター腎臓病センター長尾田高志先生の挨拶、その後、午前同様にノベルティ配布をしました。午後2時には殆ど配布が終わり片付けを3時には終了しました。

皆様のご協力で無事に終了しました。ありがとうございました。

会員の皆様、来年も行う予定です。是非参加してみませんか。

グリーンリボンパレード

10月27日(日)には臓器移植推進グリーンリボンパレードとして、午前11時30分より約1時間。日比谷公会堂西側中幸門から鍛冶橋跡までを青山学院大学学友会吹奏楽バンドワリング部を先頭にパレードをします。

全腎協、全国心臓病の子ど

もを守る会、日本移植者協議会、胆道閉鎖症の子どもを守る会、ニューハートクラブ等他団体も参加します。

多摩ブロック

正会員会議

ブロック長

横溝 久美子

7月21日(日) 国立駅前く
にたち・こくぶんじ市民プラ
ザで2024年度多摩ブロッ
ク正会員会議を行いました。
猛暑の中、正会員9名(理事
5名含む)が参加しました。
はじめに横溝ブロック長よ
り東腎協の現状(会員の減少
・財政難)と2025年度東
京都予算要望について説明し
ました。

また、5月に行われた多摩
ブロック「多摩地域の災害対
策学習会」での資料(三多摩
腎疾患治療医会災害時ネット
ワーク)に、該当する各患者
会名を追加した一覧表を配布
し、5ブロックで構成される

災害時ネットワークのどこに
所属しているかが明確になり
ました。次に正会員さんの自
己紹介と患者会の活動報告を
行いました。

○吉祥寺あさひ腎友会

山本会長

6月に病院ロビーにて、要
伸也副院長による「災害対策」
の講演会と総会を開催。その
後、食事会も行い親睦を深め
た。毎月定例役員会は5名の
役員で実施している。

○永山腎友会 野口会長

以前は親睦会・お花見など
イベントも活発に行っていた
が、会員の死亡・転院で会員
数が減少。患者会の解散を考
えたが、昨秋、看護師長の協
力を得て入会案内と資料を作
成して配布し、解散は踏みと
どまった。ただ、役員の高齡
化で体調を崩す人が多く、活
動は難しい。

○村上医院ひまわり会

堀会長

掲示板を活用し、入会を促

しているが、コロナ以降待合
室の利用が少なく、患者会の
話をする機会が少ない。

「はんぶん米」は待合室に
置き、患者が自由に持ってい
けるようにしている。

○立川ふれあい相互病院

希望会

和田会長代理

コロナ禍で活動が停滞。現
在活動再開を模索中。役員会
は事務長・看護師長と意見交
換ができ、病院が発行する「透
析新聞」に患者会コーナーが
設けている。総会は10月に計
画している。

○すながわ相互診療所

患者会いずみ 清水理事

1月に病院待合室にて4年
ぶりに新年会を行い、お弁当
にビンゴにカラオケに大盛況
だった。秋にはバーベキュー
を予定。病院院長とスタッフ
が協力的で、役員会にも事務
長が参加して行っている。

○平山腎友会

岡田会長

6月に総会を開催。その後
交流・食事会した。



多摩ブロック正会員

○長久保ハナミズキ会

横溝会長

「はんぶん米」に入会案内・
資料を添えて、非会員の患者
全員に配布し、会員拡大を行
なった。

患者会は会員・役員の高齡
化が進み、活動が厳しい状態
に直面しています。こうした
中、総会や親睦会を開催でき
た患者会、今後に向けて模索
中の患者会など、奮闘してい
る話を聞くことができ、意見
交換も活発に行われました。
休憩時間もリンの話などで、
交流ができました。少ない人

数でしたが、充実した内容で、正会員さんの励みになる会議となりました。

八王子東町桑の実会・平山腎友会合同食事会を開催

岡田 和友

10月13日(日) 12時30分～15時、八王子市の鶯啼庵(おうていあん)で食事会を開きました。参加者は20名でした。当日は晴天に恵まりました。

府中腎クリニックけやき会の梅原秀孝会長が昨年8月2日に逝去されましたが、コロナ禍以前には、故梅原会長と八王子東町クリニック桑の実会の村越京子会長が中心になり、心施会グループ患者会(府中けやき会・八王子東町桑の実会・平山腎友会)のバス旅を医療スタッフも参加して行っていました。河口湖や臨海部有明の基幹的広域防災拠点、防災体験学習施設「そなエリア東京」での地震体験などへ

行っていました。ここは無料で防災体験学習ができます。また、行きかえりの車中では、カラオケも歌い、楽しい思い出と共に会員相互の交流を図ってきました。

今回当初は、山中湖へバス旅を平山腎友会の岡田さんが計画していましたが、東町クリニック桑の実会で食事会を計画していることを知り、合



合同食事会

流することとしました。

参加者は家族を含めて、東町クリニック桑の実会12名、平山腎友会8名の計20名でした。府中けやき会(会は解散して個人会員に移行中)にも声を掛けましたが、所用と体調不良で今回は参加を見送られました。

会場では、コロナ禍で会員の交流が久しぶりなのも考慮して、会ごとに席を分けて松茸土鍋ご飯など「実りの宴」、先附、旬菜、向附、椀物、八寸、焼物、御食事、水菓子を楽しみながら交流を深めました。



平山勉強会

帰りがけに、会員さんより次回はバス旅行で逢いましょうとのこえが聞こえました。残念なことに集合写真を撮り忘れてしまいました。

平山腎友会 障害等年金勉強会

9月29日(日) 13時30分～16時 平山交流センター(平山図書館2階) 第一集會室にて年金勉強会を開催した。第一部に講演会。第二部に交流会を行いました。資料代・交流会のケーキ代・お茶代として会費500円を徴収。

講師には年金組合日野支部副委員長で元社会保険事務所の年金給付課長をされていた平山6丁目在中の鈴木養一さんを招きました。参加者は非会員の方、家族を含め8名でした。

障害年金、遺族年金、年金積立金活用などを勉強しました。

ご寄付の報告

NPO 東腎協会長 戸倉 振一

この度、故伴カズ子様より当会に対し過分なご寄付を賜りましたので、ご報告させていただきます。

伴様は、昭和57年（1982年）12月に透析導入し昨年ご逝去されるまで41年間にわたり透析治療を行われました。この間、当会に加盟する松和患者会西新宿支部の会員として、東腎協の活動にもご理解とご協力を賜りました。

伴様は、ご生前に東腎協への寄付を希望されており、昨年ご逝去されたのちご担当された弁護士の方よりご連絡をいただき、遺贈寄付金として金壱千円を受領させていただきました。

近年、患者の高齢化や合併症患者（重度化や重複化）の増加などにより、東腎協の活動も人的・財政的に厳しい状況の中でご寄付賜りましたことに会員を代表し心から感謝申し上げます。これらも多くの腎臓病患者が笑顔で生活を送れるよう一丸となって東腎協の活動に取り組んでまいりますことをお誓い申し上げます。

最後に、伴カズ子様のご遺志に感謝申しあげ、心からご冥福をお祈り申し上げます。

「国民を腎疾患から守る総合対策」の早期確立を要望する請願

国会へ 私たちの願いを 届けるために！



国会請願署名にご協力ください

腎疾患対策の更なる推進を

透析患者が介護保険施設に入所できる環境整備を

自力通院が困難な透析患者の通院支援を

医療者不足地域における透析医療の確保を

生産年齢世代の透析患者の就労による社会参加の促進を

災害時の透析医療の確保と避難・移動の整備を

臓器移植の促進と再生医療研究の充実を



あなたの**1筆**が
国民を腎疾患から守ります

一般社団法人 全国腎臓病協議会

NPO法人 東京腎臓病協議会

2025年度厚労省

「腎疾患総合対策」

予算要望と回答

8月8日(木) 全腎協

全腎協が8月8日に行った厚生労働省との2025年度腎疾患総合対策に関する予算要望と回答27項目のうち、主なものについて以下にその概要を報告します。

慢性腎臓病(CKD)の早期発見と重症化予防について

要望…CKDの重度化には、検尿(タンパク尿)、eGFRの算定が必須であることから、血清クレアチニンを一般健康診断法定項目に加えてください。

回答…関連学会からエビデンスとともに新規項目の提案があれば、検討することとなっている。関連学会からは提出される予定と聞いている。

要望…健康診断の再検査(2次検査)が徹底されるような対策を推進してください。

回答…CKD診療連携モデル事業で、医療機関向けに再検査の受診勧奨を推進する取り組みを支援している。

要望…全国において地域格差が生じないようCKD対策の均てん化を推進してください。

回答 各都道府県における腎疾患対策の取り組み状況を評価するためのアンケート結果を全ての都道府県担当者と共有している。

要望…透析患者のサルコペニア・フレイルの重症化を予防のため、2022年の診療報酬改訂で新設された「透析時運動指導等加算」を透析施設で継続して利用できるものとしてください。また、透析患者の生命予後やQOL改善のため、運動・食事・精神的ななどの包括的な腎臓リハビリテ

ーションが透析施設で受けられるようにしてください。

回答…算定期間は、関係学会からの提案を踏まえ、有効性や安全性のエビデンスを考慮して設定されている。透析患者に対する包括的なリハビリテーションについては、診療報酬上の評価のあり方を引き続き検討していく。

就労について

要望…診療報酬における「療養・就労両立支援指導料」の対象に透析患者を含む腎疾患を加えてください。

回答…透析患者を含む慢性腎臓病(CKD)患者の治療と仕事の両立支援を進めるため、厚生科学研究において、ライフスタイルに着目した慢性腎臓病対策に資する研究を行うっており、ガイドラインの作成に取り組んでいる。

災害対策について

要望…広域災害発生時に、速

やかに国と当該自治体が連携し、隣接する都道府県等が被災した透析患者を受け入れる体制を構築するとともに、患者の移送も含め、入院・通院手段の確保を迅速に計画し対応できるようにしてください。

回答…厚生労働省では都道府県と連携し、日本透析医学会と連携し、日本透析医学会災害情報ネットワーク等を通じて情報を収集し、透析患者の施設間搬送にあたり連携施設間や地域ブロック内、広域なネットワークでの調整が必要な場合には、患者の搬送手段についても関係省庁、都道府県および関係団体との連携により適宜情報収集を行い、受け入れ調整支援を行っている。

臓器移植について

要望…実際に脳死下で臓器提供を行う施設が増えていくために必要な対策を講じてください。

回答…「臓器提供施設連携体制構築事業」で臓器提供経験

が豊富な施設から経験が少ない施設へのノウハウの供与や人員配置、マニュアルのアドバイス、人材派遣を行っている。また、令和6年度は診療報酬では機能評価係数に臓器提供の実施の評価を追加している。

要望…心停止後の臓器提供についても増えるような施策を講じてください。

回答…脳死下、心停止後の臓器提供の可能性のある方の把握のための仕組みを構築しなければいけないと考えている。

要望…臓器提供後のドナー家族に対する支援体制の整備をしてください。

回答…都道府県コーディネーターさんの協力等を得ながら、臓器提供後のドナー家族を支援する取り組みを進めていきたい。

介護・通院について

要望…特別養護老人ホームの特別通院送迎加算について、要件を緩和するとともに、介護医療院、介護老人保健施設などにも対象施設を広げてください。

回答…透析が必要な患者さんであっても、特養への入所が可能となるよう、施設側の受け入れ負担を軽減する観点から、介護報酬改定が行われなかった。特別通院送迎加算の要件については、利用者負担のあり方等を慎重に検討していきます。

社会保障について

要望…高額療養費の特例に係る高額長期疾病（特定疾病）を堅持継続してください。

回答…現在は人工透析を含む3つの疾病がこの特例の対象となっています。引き続き著しく高額な治療を長期にわたる必要とされる疾病の患者にかかる医療費の軽減についてはしっかりと取り組んでまい

りたい。

要望…自立支援医療（更生・育成医療）の3年ごとに延長されてきた「重度かつ継続（一定所得以上）」を恒久的な制度としてください。

回答…この制度の取り扱いは令和6年3月31日まででしたが、期限を延長し令和9年3月31日までさらに3年間延長されることが決定しています。この制度の恒久化については、課題として認識していますが慎重な検討が必要であり難しいと考えています。

要望…障害年金の初診日を慢性腎不全と診断された日に改定してください。

回答…初診日が特定できないからといって、その障害年金がもらえないことがないよう、平成27年10月から初診日を合理的に推定できるように見直しを行ったところです。なお、初診日に加入していた

制度から障害年金が支給されることから、初診日を慢性腎不全と診断された日とすることはできない。

要望…移植後に65歳をすぎた透視再導入となった時、障害年金を受給していた時期に第一号被保険者として保険料の法定免除をうけていると、低額の老齢年金しか受給ができません。65歳以降の年齢による失権を廃止してください。

回答…65歳以降の新たな障害に対して障害年金を支給することや、障害加算を設ける取り扱いはなっておりません。その上で、低所得低年金の方に対しては、年金生活者支援給付金が支給されます。また、法定免除を受けた後で納付することも可能です。2014年からは、前納を行うことも可能です。そういった制度を活用していただきたい。

「青い鳥郵便はがき」 の無償配布知っていますか？



「会員の皆様は「青い鳥郵便葉書（はがき）」の無償配布はご存知ですか」

「青い鳥郵便葉書の無償配布」は1976（昭和51）年より継続して行われています。

◎配布対象

（1）重度の身体障がい者
身体障害者手帳に「1級」または「2級」の表記がある方
（2）重度の知的障がい者
療育手帳に「A」または「1度」もしくは「2度」の表記がある方

◎受付期間（2025年3月中旬頃詳細判明予定）

2025年4月1日（火）から同年5月31日（土）まで（予定）

◎配布するはがきの種類

（1）通常はがき（無地、インクジェット紙またはくぼみ

入り*）

*「くぼみ入り」は、視覚障がい者の方が使いやすいようにした郵便はがきです。」

（2）通常郵便はがき・胡蝶蘭（無地またはインクジェット紙）

◎配布枚数

お一人に付き、上記配布はがきの中からいずれか1種類を20枚。

◎お申出方法

（1）窓口

最寄りの郵便局の窓口に身体障害者手帳または療育手帳をご提示いただき、「青い鳥郵便葉書配付申込書」に必要事項をご記入の上、ご提出ください。なお、代理人によるご提出も可能です。」

（2）郵送

適宜の用紙に、「青い鳥郵便葉書配付申込書」と同等の内容を記入し、身体障害者手帳または療育手帳の写しと共に、最寄りの郵便局に郵送ください。なお手帳の写しは（手

帳の種類、級別または程度、氏名及び住所）が確認できるページをお送りください。

◎配布方法

2025年4月21日（月）以降、最寄りの配達を担当する郵便局からお届けされます。
*郵便局の窓口ではお渡ししておりません。」

東腎協からのお願い

東腎協では、会員の皆様から青い鳥郵便はがきやご自宅などで余ったはがきや切手などをご寄付いただき、東腎協財務の一助として大切に使用させていただきます。

本年10月より、郵便はがきは63円↓85円（22円UP）
切手（定形郵便25g）84円↓110円（28円UP）しました。

郵便料金や諸物価の値上げは、私たちの患者会財政活動に大きな打撃となっています。
東腎協の活動財源は、一般会員会費、賛助会員会費、広

告収入、寄付金等から成り立っています。

しかし、会員さんの高齢化や後継者不足などから、東腎協の会員数は減少の一途を辿り、その結果、会費収入も大幅に減少し、最近5年間で約350万円（全腎協会費を除く）の減収となって、2024年度予算は約300万円の赤字となっています。現在は過去の備蓄で何とか運営していますが、会員さんへの郵送料や従来のも見直す時期に来ています。

会員さんにはお願いです。今まで、無償配布をご利用したことがない会員の皆様も積極的にこの制度を活用し、ご本人が利用しない場合には、東腎協事務局にご寄付いただけます。どうかよろしくお願いいたします。

（次号でも詳細報告）

事務局から

「ご寄付御礼」

扶桑薬品工業（株） 東京第一支店様
ご寄付ありがとうございますございました。

「青い鳥ハガキご寄付御礼」

《患者会》長久保ハナミズキ会、西クリニックひまわりの会、優人クリニック患者会
《個人会員》

たくさんのご寄付ありがとうございました。

今後の活動予定

10月27日（日）
臓器移植推進グリーンリボンパレード（日比谷公会堂西側中央門集合）
10月27日（日）
東腎協第200回理事会（東京都障害者福祉会館 + zoom）

11月3日（日）

23区ブロック個人会員会議

11月9日（土）～10日（日）

全腎協全国シンポジウム・結成53周年記念講演会

11月24日（日）

東腎協第201回理事会（東京都障害者福祉会館 + zoom）

12月7日（土）

全腎協臨時理事会

12月28日（土）～1月5日（日）

東腎協事務局年末年始休暇

10月中旬頃～1月31日（金）

第54次国会請願署名運動

編集後記

○今夏は、世間は記録的猛暑の中御茶ノ水の東京医科歯科大学病院にひと月ほど入院。古い病棟で思ったより良い心地ではなかった。抗がん剤治療も先日5回目を終え何とか先が見えてきた。生涯何度目の入院生活か？もう最後になりたい心境です。

この間、東腎協、全腎協の

事務局が巣鴨に移転し、事務局の皆さんにはいろいろご迷惑をおかけしました。「これから頑張ります」と言いたいところだが、年が明けると私も本当の後期高齢者になる。10歳の発病から65年近く「良く生きてきたもんだ」と、自分を褒めてやりたい（笑）

今年もあと2か月。世間では知らぬ間に首相が交代し、解散総選挙騒ぎです。今号が発行される頃には新しい政権が発足し裏金、○○教会問題は

は何処へやら・・・一斉の物価値上げ、賃金は上がらず、一般国民の生活は相変わらずで同じことの繰り返しのように思えてならない。選挙権を得て早55年、あの頃はもう少し良い世の中が待っていると夢見ていたのが果たして。

「疚しき（やましき）沈黙」とは、10年ほど前にNHKで「日本海軍400時間の証言」という特別番組があった310万人を殺してしまった

旧海軍エリートたちの反省会で「馬鹿げた決定でも渦中にいる者は、これを見過ごして大勢に推移して身を任せ、疚しい気持ちを持ちながらも黙り続ける」とのことのようだ。東腎協事務局に関わって15年、全腎協に4年、最近自身「沈黙」を見直す機会が多くなったような気がする。老いのせいか自分の能力の限界か。悔いなき人生を送りたいものだ。

名優西田敏行の訃報を聞きながら、近い将来自分も生涯を閉じるのだと真剣に考えるようになった。巡り合わせか一男二女の我が子供たちと数年ぶりに新宿で飲んだ。知らぬ間に長女は離婚し二女は結婚していた（驚）。二女の亭主もなかなか面白い奴で昔の俺のマンションで元女房の面倒を見ているようだ。寛解したら日野の居酒屋やスナック巡りを約束した。頑張らなきゃ。

（板橋）

〈事務局雑感〉

○暑い暑い夏が過ぎ去り、過ごしやすい季節になりました。今年とはとにかく暑い！夏だった。

移転した先の事務所の部屋がビツクリするくらい暑い。エアコンの設定温度が20℃だなんて。普通だったら凍えている温度。部屋の面積が狭くなったのに、更にサーキュレーター（管理会社が購入してくれた）も廻しているのに。冬は暖かいのだろうか？

話は変わるが、愛知に住む母が10月で100歳になった。百寿の祝いで子・孫・曾孫と総出15名となった。コロナ騒動以来で久しぶりに実家へ帰った。

ちよっとした旅行で、土曜日の透析後移動して諏訪湖に一泊。日曜日、お祝いが終了後移動して、浜名湖で一泊。久しぶりの旅行を楽しんだ。全国には100歳になるご長寿の方が約90000人と沢

山いる。その中に仲間入りだ。

(三好)

○毎年恒例となる国営昭和記念公園にて、立川まつり 国営昭和記念公園花火大会が7月27日(土) 19:15~20:15 (約1時間)に開催された。見どころは、大迫力の一尺五寸玉、ワイドスターマインをはじめとする約5,000発の花火。今年も隣接する航空自衛隊立川基地内から花火を観ることになった。

当日の天気は、曇りのち雨の予報、開催時間が近くなるにつれ、稲光と雷鳴、真っ黒な雲が近づいてくる。開始10分前にはポツポツと雨が降り始める。寝転がってみる予定だったが、結局、傘をさして観ることになった。

花火大会の中止もよぎったが、心配をよそに無事に花火が上がった。雨の影響か、最高気温が35度超の予報だったが、とても涼しく感じた。テレビで観る花火は全体が

綺麗に収まっていて見栄えは最高だが、ナマの花火との違いは音、お腹に響く振動だ。テレビから聞こえてくる花火の音はドーンだが、生音はもっと太い音がする。振動もお腹付近にビリビリ伝わってくる。

観客から飛び出す掛け声も、花火を彩る装飾に。「た〜まや〜！」とくれば「か〜ぎや〜!!」と返す掛け声が会場のあちこちから聞こえてくる。いつの間にか、「た〜まや〜!!」の掛け声を楽しみにしている子供たちもたくさんいて、血管が切れてしまうのではないかと思うくらいの大声で「か〜ぎや〜!!」と応戦する。

花火の音に加えて、声のセッションにも大いに盛り上がった今年の花火大会となった。来年はどのような花火大会になるのか今から楽しみだ。

(松山)

第42回臓器移植普及推進キャンペーン(井の頭公園)

1997年に「臓器移植法」が施行されてから今年で27年になります。

「臓器移植普及推進キャンペーン」は、世界腎臓デー(10月)に東腎協主催・東京都共催で開催され、テレビッシュと臓器提供意思表示カードや全腎協の名入り風船などを配布。2016年からは東京医科大八王子医療センターの医師、看護師さんの協力を頂いています。2020年以降、新型コロナウイルス感染症の拡大で中止していましたが2022年10月3日から井の頭恩賜公園で東京都共催、東京医科大八王子医療センターの協力で再開しました。

健康で快適な生活をサポート

エルピスの製品は、腎臓機能の低下した方、透析療法を受けている方の栄養補助食品です。

不足しがちな栄養を補給し

良い体調を保ちましょう！

赤ラベル

2003年からの
ロングセラー品

エルピス 合成保存料無添加

栄養機能食品

内容量:50ml/瓶 1日の目安量:1本

販売価格	30本入り	6,480円	送料別途 税込
	10本入り	2,160円	



青ラベル

亜鉛不足が
気になる方に

亜鉛 5.9 mg
鉄ゼロ



本品は、透析専門医の指導に基づき、透析患者さんに不足しがちな水溶性ビタミン9種をバランスよく配合したビタミン粒です。皆様の健康維持にご利用ください。

透析患者さんはビタミン不足？！



水溶性
マルチビタミン
VitaWasser

内容量: 30粒/1袋 1日の目安量: 1粒

販売価格	1袋×(30粒入)	1,600円(税込)
	2袋×(30粒入)	3,000円(税込)

メール便対象(送料無料)

購入・問合せ

0120-393-578

【受付時間】平日 9:00~17:00

エルピス株式会社

大阪市淀川区西中島4丁目6-29

エルピス 栄養ドリンク 検索

<https://www.elpis-net.com>

